

旧東洋バルヴ諏訪工場跡地活用基本構想【概要】

◆活用コンセプト

産業振興・技術開発・
観光振興・雇用拡大の活動拠点ゾーン



◆整備における課題

(1) 諏訪圏工業メッセの継続開催

○工業メッセの2020年度以降の継続開催が前提

(2) 機能の充実

○集客機能、他施設との差別化による魅力発信

(3) 建屋の検討

- ①既存建屋の活用:耐震改修・用途変更が必要
- ②新展示場の整備:施設規模の検討が必要

(4) 地元産業界、 長野県及び諏訪地域6市町村との関わり

○施設整備、利活用に向けた積極的な協力

(5) 資金調達

○財源確保の手法についての研究

(6) 施設の運営手法

○官民連携手法(PPP/PFI手法)の積極的な検討

(7) 周辺環境の整備

○中心市街地、観光地としてのエリア整備

◆整備方針

方針1 多目的な展示場施設を備えることを基本として、
施設規模、運営手法、財政負担などを十分に検討

- 工業メッセの継続開催のため、「多目的な展示場施設」整備を検討
- 施設の需要予測、コスト比較などにより、多方面から方向性を検討

方針2 新たな技術開発など地域産業の支援機能を付加

- 販路開拓やマッチング、ものづくり人材育成など、産業支援機能を付加

方針3 道路や河川など周辺エリアを整備

- 市民生活向上に資する公共空間整備のため、広く意見を聴き市民とともに検討
- 周辺道路環境、周辺河川環境の整備を検討

方針4 駐車場の確保、災害時の活動拠点としての活用

- 文化センター、諏訪赤十字病院など、周辺エリアとの連携
- 災害時活動拠点としての活用 ○周辺施設と共有できる駐車場の検討

方針5 民間活力を導入した整備・運営

- 官民連携による民間活力を導入した施設整備と運営
- 生活利便性の向上や賑わい創出が期待できる民間収益施設の研究

方針6 産業界、国、長野県、諏訪地域との連携・協力

- 地元経済界との連携強化、積極的な施設の利活用を要請
- 長野県、諏訪地域6市町村との連携 ○国・県補助金の活用

◆今後のスケジュール(想定)

平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	2020年度	2021年度以降
基本構想策定	基本計画・整備計画策定		公募要領作成
	利活用可能性調査		公募・事業者決定

